

はじめに

「アユがもどってきたあ！」「大和川もきれいになったのだ！」と子どもたちの歓声がひびいています。

旧版の副読本「わたしたちの大和川」を各学校に配布した2000年ごろ、大和川の水質は全国一級河川水系の中でワースト・ワンやツウーでした。

なぜ大和川は、よごれたのだろう。どうしたらきれいになるのだろう。

大和川は、どこから流れてきてわたしたちの生活と、どうかかわってきているのだろうか。

大和川はつけかえられたって聞いたけれど、いつ、だれが、どんな方法でやったのだろう。

これらの疑問に、副読本「わたしたちの大和川」はこたえてきました。だが15年たってデータも変わり、子どもや地域の人々の取り組みも活発になって、学ぶ内容も変えなくてはなりません。そのため「新版」を刊行しました。

「水の旅人」という映画に、次のようなセリフがあります。

「子どもはなぜ背^せが低^{ひく}いか知っておるか」

「う、うーん」

「それはな、大地に^{ちこ}近うて、自然の声がよく聞こえるようにじゃ。そして自然と交わした約束をどれだけ守っておるか、それがためされるため^{おとな}大人になって、大きくなって、地面からどんどん^{はな}離れていくのじゃ。だからのお、子どものうちに、よく聞いておくのじゃ。大地の歌」

あなたも、この本を手がかりにして、大和川の声を聞いて下さい。そして、どんな約束をしたかを、みんなで話し合ってみましょう。